

【学校の教育目標】		ふるさとに誇りを持ち、人間性豊かにたくましく生き抜く児童生徒の育成 ～ 学びあい 支えあい みがきあい ～			資質・能力との関連		担当	(評価 4:100%以上 3:80%以上100%未満 2:60%以上80%未満 1:60%未満 ※%は達成率)				学校関係者評価(月日)		
重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標	知識・技能	思考・表現力	学び・人間に向かう		取組指標に対する 達成状況の確認	達成指標に対する 達成状況の確認	達成指標・取組指標の妥当性を 検証	評価	改善方法	考査	評価
コミュニケーション力の育成	○ 「自分から進んで挨拶ができる」とA評価回答する児童の割合を70%以上 1学期 7.0% 【達成率100%】 2学期% 【達成率%】 3学期% 【達成率%】	学校	○ 基本的な生活習慣の習得(凡事徹底6項目) ・元気よくあいさつ・返事をします ・時間を守って行動します ・そうじにしっかり取り組みます ・身だしなみをきちんとします ・ていねいな言葉づかいをします ・はきものをきちんとそろえます	○ 教職員は日常的にあいさつの指導を行い、小学校朝会であいさつの良い人を紹介する。	○		指導部	62.50%	児童アンケート項目「自分から進んで挨拶ができる」とA評価回答する児童の割合70% 教職員アンケート項目「日常的にあいさつの指導を行い、朝会であいさつのよい人を紹介している」とA評価回答する教職員の割合62.5%	100%	○児童アンケート項目「自分から進んで挨拶ができる」とA評価回答する児童の割合70% ○児童アンケート項目「自分から進んで挨拶ができる」とA評価回答する児童の割合70% ○児童アンケート項目「自分から進んで挨拶ができる」とA評価回答する児童の割合70% ○児童アンケート項目「自分から進んで挨拶ができる」とA評価回答する児童の割合70%	4	○あいさつに加えて、立ち止まって会話をしたり、名前を呼んだりといった「プラスワン」ができるように学級や全校集会などで呼びかける。	
			○ 教職員は生活目標を掲示したり、朝の会で意識させたりし、帰りの会で振り返りをさせる。	○ 教職員は生活目標を掲示したり、朝の会で意識させたりし、帰りの会で振り返りをさせる。	○			75%	児童アンケート項目「生活目標を守って生活している」とA評価回答する児童の割合69% ○児童アンケート項目「生活目標を守って生活している」とA評価回答する児童の割合69%	99%	○児童の会中の「A評価」の基準が均一になつていない実態がある。本来の達成状況を評価するためにも、各学級で基準を明確にした目標を設定し、振り返りをする。			
			○ メディアルールを守った生活	○ 家族で話し合い生活チェックカードのめあてを決め、目標を達成できるように、保護者が声かけによるサポートを行う。		○		6月30日～7月4日に「家での過ごし方チェックカード」の取り組みを実施。	1回/学期	保護者アンケート項目「家族で話し合い、生活チェックカードのめあてを決め、目標を達成できるように、保護者が声かけによるサポートを行うことができている。」と肯定的回答する保護者の割合65.7%	2	○2学期に育友会で保護者が子育てについて勉強する場をつくり、問題意識を共有できるようにする。		
	○ 「生活目標を守って生活している」とA評価回答する児童の割合を70%以上 1学期 6.9% 【達成率99%】 2学期% 【達成率%】 3学期% 【達成率%】	家庭	○ あいさつと声かけの推進	○ 地域全体で育友会との連携を図り、毎朝のあいさつ運動や「あいさつプラス1」の活動を行う	○			6月17日にあいさつプラス1運動を実施。	1回/学期	保護者アンケート項目「学校行事や育友会活動に取り組んでいる。」と肯定的回答する保護者の割合93.7%	3	○2学期も取組を継続する。		
			○ 「授業で、自分の意見や振り返りを書くことができた。」の児童の肯定的評価を85% 1学期 9.1% 【達成率107%】 2学期% 【達成率%】 3学期% 【達成率%】	○ 「伝え合う場」を設定した、行事や授業での取り組み	○ 授業者は、ペア・グループ学習において考え方を伝え合う時間を1日1回以上授業時に設定する。 大明タイムで聞く力・伝える力に関連した活動を週1回行う。	○		83.30%	教職員アンケート項目「授業者はペア・グループ学習において考え方を伝え合う時間を1日1回以上授業時に設定する」とA評価回答する教職員の割合66.7% 教職員アンケート項目「大明タイムで聞く力・伝える力に関連した活動を週1回行っている。」とA評価回答する教職員の割合100%	107%	○児童アンケート項目「授業で、自分の意見や振り返りを書くことができている。」と肯定的評価する児童の割合91% ○児童アンケート項目「授業で、自分の意見や振り返りを書くことができている。」と肯定的評価する児童の割合91% ○児童アンケート項目「授業で、自分の意見や振り返りを書くことができている。」と肯定的評価する児童の割合91% ○児童アンケート項目「授業で、自分の意見や振り返りを書くことができている。」と肯定的評価する児童の割合91%	4	○振り返りの内容を分かりやすく児童が振り返られるように、項目を設け、各学級が意識して取り組めるような掲示の仕組みを作る。	
			○ 「授業や行事などで、ペア交流や発表、感想発表などができる。」の児童の肯定的評価を80%以上 1学期 9.2% 【達成率115%】 2学期% 【達成率%】 3学期% 【達成率%】	○ 思ったことや考えたことを「書く活動」を設定した授業 ○ I C Tを活用した授業の推進	○ 授業者は児童が発表したり、考え方を交流したりする場面でICTを活用した活動を月1回以上取り組む。	○		83.30%	教職員アンケート項目「思ったことや考えたことを振り返りなど書く活動を設定した授業を行っている。」とA評価回答する教職員の割合83.3% 教職員アンケート項目「授業者は児童が発表したり、考え方を交流したりする場面でICTを活用している。」とA評価回答する教職員の割合83.3%	115%	○児童アンケート項目「授業や行事などで、ペア交流や発表、感想発表などができる。」と肯定的評価する児童の割合92% ○児童アンケート項目「授業や行事などで、ペア交流や発表、感想発表などができる。」と肯定的評価する児童の割合92% ○児童アンケート項目「授業や行事などで、ペア交流や発表、感想発表などができる。」と肯定的評価する児童の割合92% ○児童アンケート項目「授業や行事などで、ペア交流や発表、感想発表などができる。」と肯定的評価する児童の割合92%	4	○これからも継続的に行事等で感想発表を伝える場を意識して作り、内容の充実に努める。	
主体的に学びを深める児童の育成	○ 「授業で、自分の意見や振り返りを書くことができた。」の児童の肯定的評価を85% 1学期 9.1% 【達成率107%】 2学期% 【達成率%】 3学期% 【達成率%】	学校	○ 家庭での親子読書の推進	○ 保護者は、読書週間の取り組みを学年に1回行う。	○			6月30日～7月4日に「親子読書」の取り組みを実施。	1回/学期	保護者アンケート項目「親子読書週間に、子どもと親子読書の取り組みができる。」と肯定的回答する保護者の割合71.9%	2	○一緒に取り組むことで、一人では気づけないことに気づく機会となっている。平日は取り組みが難しく、期間内だけの取り組みになってしまっている。		
			○ 親子での会話	○ 読書週間中は読書の内容についての会話に取り組む。	○			5月20日に第1回学校運営協議会を実施。	1回/学期	保護者アンケート項目「学校運営協議会が地域と学校、保護者と連携して計画的に推進している。」と肯定的回答する保護者の割合93.7%	3	○2学期に育友会で保護者が子育てについて勉強する場をつくり、問題意識を共有できるようにする。		
			○ 「地域と共にある学校」に向けての支援	○ 地域は、毎回の学校運営協議会や学校行事において、学校の取り組みについて意見や感想を積極的に述べる。	○			5月20日に第1回学校運営協議会を実施。	1回/学期	保護者アンケート項目「地域と共にある学校」に向けて意見や感想を積極的に述べる。	3	○2学期も取組を継続する。		
	○ 「児童アンケート「友だちのいいところを見つけ、伝えることができた。」のA評価回答する児童の割合を80%以上 1学期 6.7% 【達成率83.7%】 2学期% 【達成率%】 3学期% 【達成率%】	家庭	○ 集団活動の充実	○ 教職員は望ましい人間関係の視点で肯定的評価を行うとともに、児童同士の振り返りの場を設定し、個々の児童の意見のよさを伝える。	○		教務部	100%	児童アンケート項目「友だちのいいところを見つけ、伝えることができている。」とA評価回答する児童の割合67%	84%	○児童アンケート項目「友だちのいいところを見つけ、伝えることができている。」とA評価回答する児童の割合67% ○児童アンケート項目「地域やふるさとが好き」とA評価回答する児童の割合85%	3	○各学級で「笑顔の花」を書く活動を月1回以上取り組む。	
			○ 「えがおの花」カード等によって友だちの良さを見つけあう活動を学校や全体で推進する	○ 「えがおの花」カード等によって友だちの良さを見つけあう活動を学校や全体で推進する	○			57.10%	児童アンケート項目「えがおの花カード等によって友だちの良さを見つけあう活動を学校や全体で推進している。」とA評価回答する教職員の割合57.1%	94%	○児童アンケート項目「地域やふるさとが好き」とA評価回答する児童の割合85%	3	○2学期も「笑顔の花」交換の場を月2回以上設定する。	
			○ 家庭でのつながり(家庭版「えがおの花」活動)の推進	○ 家庭は、学期に1回「笑顔の花カード」に子どものいいところを見つけて記入する。	○			7月4日～10日まで「えがおの花カード」の取り組みを実施。	1回/学期	保護者アンケート項目「1回えがおの花カードに子どものいいところを見つけて記入することができている。」と肯定的回答する保護者の割合96.9%	3	○家庭で手伝いなどの役割をもたせることが必要。手伝いなどを体験することで、相手のやっていることについて気に気づくことができるようになる。		
	○ 「地域やふるさとが好き」とA評価回答する児童の割合を90%以上 1学期 8.5% 【達成率94.4%】 2学期% 【達成率%】 3学期% 【達成率%】	地域	○ 総合的な学習の時間への参画	○ 地域は、ゲストティーチャーとして、授業・体験活動・探究活動等に学校の要請に基づいて協力する。	○			1回/学期	総合的な学習の時間への参画「4～6年土植え」	1回/学期	地域は、授業・体験活動・探究活動等に学校の要請に基づいて協力することができた。	4	○2学期も取組を継続する。	
			○ 最終退勤時間を守った教職員の割合85%以上 1学期 7.5% 【達成率88%】 2学期% 【達成率%】 3学期% 【達成率%】	○ 業務の見直し、改善と教職員のワークライフバランスの推進	○ 月1回校内労働安全衛生委員会を開催。業務の共通理解と見直し、改善等を行う。学期に1回、計画年休取得期間を設定する。	○	管理部	100%	最終退勤時間を守った教職員の割合75% 達成率88%	99.50%	○1学期は、短縮5校時を1週間に整理期間として設定した。期末整理期間を設定しても、学期末の最終週は最終退勤時間を超える教職員が増える傾向がある。	3	○2学期は期末整理期間設定の週を1周後にずらして設定する。	
			○ 教職員アンケート「効率的な働き方に努めている」の項目で肯定的な回答割合を90%以上 1学期 10.0% 【達成率111%】 2学期% 【達成率%】 3学期% 【達成率%】	○ 効率的な活動の実施	○ 勤務時間外で行う育友会活動を20:30までに終了するよう協力する(開始時刻の変更を含む)。	○		4/1 2回	育友会活動を20:30までに終了した回数4/12回	1	○開始時間の変更は難しい。	2	○学校外の施設を利用することを検討し実施。○学校への連絡は育友会専門部の部長がメール等で連絡する。	
			○ 学校支援活動の推進	○ 学校運営協議会において学校の働き方改革の話し合いを持ち、学校を支援する。	○			1回/学期	5月20日に第1回学校運営協議会を実施 8月28日に第2回学校運営協議会を実施	3	○2学期も取組を継続する。		○2学期も取組を継続する。	